



## 平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月8日

上場取引所 名

上場会社名 株式会社 NITTOH

コード番号 1738 URL <http://www.nittoh-info.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中野 英樹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

(氏名) 伊藤 寿朗

TEL 052-915-3210

四半期報告書提出予定日 平成28年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	3,804	3.2	157	△19.7	175	△16.5	116	△15.2
28年3月期第2四半期	3,687	11.4	196	98.6	209	85.7	137	91.7

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 119百万円 (△12.8%) 28年3月期第2四半期 137百万円 (88.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	28.79	—
28年3月期第2四半期	33.96	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	4,388	2,794	63.7
28年3月期	4,470	2,727	61.0

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 2,794百万円 28年3月期 2,726百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	13.00	13.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,020	7.2	341	△11.5	365	△10.5	234	△7.2	57.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	4,060,360 株	28年3月期	4,060,360 株
29年3月期2Q	5,723 株	28年3月期	5,723 株
29年3月期2Q	4,054,637 株	28年3月期2Q	4,054,674 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費者マインドに足踏みがみられるものの、雇用・所得環境の改善傾向が続いており、緩やかな回復傾向にありました。しかしながら、円高傾向や英国のEU離脱問題の影響などによる国内企業収益の先行き不安感、また海外では、アジア新興国などの景気に下振れリスクがあり、今後のわが国への影響が懸念されております。

当社グループの中心となっている住宅建築業界におきましては、住宅取得に対する諸施策が継続、マイナス金利政策による住宅ローンの低金利での推移などがありましたが、本格的な回復には至りませんでした。

このような経済状況のもとで、当社グループの建設工事業において、新築戸建住宅向けの各種工事の減少や大規模新築防水工事の受注がなかったことから低調に推移いたしました。しかし、集合住宅向けのガス設備機器の新規組み込み件数の増加、中規模建設物の改修防水件数の増加、また、中古マンションのリノベーション物件の販売の増加があり、業績は伸長いたしました。

住宅等サービス事業では、既設住宅向けのシロアリ再予防工事の受注、床下環境改善の防湿商品の販売は増加しましたが、新築戸建住宅向けのシロアリ予防工事及び新規のシロアリ対策工事は減少し、業績確保は厳しい状況となりました。

ビルメンテナンス事業では、床清掃や巡回清掃といった分野を強化したことで、首都圏での受注が増加、さらに、グループ会社と連携して、ビルの外装クリーニングの受注確保に注力した結果、新規受託物件の獲得により、業績は伸長いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,804百万円(前年同四半期比3.2%増)、営業利益は157百万円(前年同四半期比19.7%減)、経常利益は175百万円(前年同四半期比16.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は116百万円(前年同四半期比15.2%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて82百万円減少し、4,388百万円となりました。主な増減は、たな卸資産の増加86百万円があったものの、現金及び預金の減少174百万円があったことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて149百万円減少し、1,593百万円となりました。主な増減は、未払法人税等の減少88百万円、仕入債務の減少33百万円及び長期借入金の返済25百万円があったことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて67百万円増加し、2,794百万円となりました。主な増減は、利益剰余金の増加64百万円、その他有価証券評価差額金の増加3百万円があったことによるものであります。

## (キャッシュ・フロー状況の分析)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、174百万円減少(前年同四半期は131百万円の増加)し、当第2四半期連結会計期間末には939百万円(前年同四半期は1,140百万円)となりました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の減少は、79百万円(前年同四半期は200百万円の増加)となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益175百万円に加えて、法人税等の支払額141百万円、たな卸資産の増加による資金の減少86百万円、仕入債務の減少による資金の減少33百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、6百万円(前年同四半期は3百万円の減少)となりました。これは、主に定期預金の払戻による収入27百万円があったものの、定期預金の預入による支出27百万円、貸付けによる支出4百万円及び有形固定資産の取得による支出2百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、87百万円(前年同四半期は65百万円の減少)となりました。これは、主に配当金の支払額52百万円、長期借入金の返済による支出25百万円及び短期借入金の減少額10百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、平成28年5月10日に公表いたしました業績予想を修正いたしました。

なお、詳細につきましては、本日(平成28年11月8日)公表の「平成29年3月期 第2四半期累計期間の業績予想と実績値の差異および通期業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,147,958	973,838
受取手形及び売掛金	958,989	962,067
たな卸資産	397,947	484,599
その他	128,840	131,297
貸倒引当金	△4,683	△3,210
流動資産合計	2,629,052	2,548,592
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	456,237	445,169
土地	1,076,175	1,076,175
その他(純額)	6,693	7,590
有形固定資産合計	1,539,107	1,528,936
無形固定資産		
その他	7,365	6,995
無形固定資産合計	7,365	6,995
投資その他の資産		
その他	295,614	304,374
貸倒引当金	△430	△470
投資その他の資産合計	295,184	303,904
固定資産合計	1,841,657	1,839,836
資産合計	4,470,709	4,388,429

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	668,244	634,916
短期借入金	60,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	36,600	11,400
未払法人税等	140,734	52,562
賞与引当金	90,756	89,684
完成工事補償引当金	27,400	30,400
その他	228,767	222,773
流動負債合計	1,252,501	1,091,735
固定負債		
退職給付に係る負債	296,638	309,638
長期末払金	23,840	21,660
その他	170,349	170,845
固定負債合計	490,827	502,144
負債合計	1,743,329	1,593,880
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	186,072	186,072
資本剰余金	145,813	145,813
利益剰余金	2,366,585	2,430,595
自己株式	△1,260	△1,260
株主資本合計	2,697,210	2,761,220
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	29,283	33,237
その他の包括利益累計額合計	29,283	33,237
非支配株主持分	885	91
純資産合計	2,727,380	2,794,549
負債純資産合計	4,470,709	4,388,429



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	3,687,598	3,804,606
売上原価	2,683,141	2,781,876
売上総利益	1,004,457	1,022,730
販売費及び一般管理費	808,065	865,100
営業利益	196,392	157,629
営業外収益		
受取利息	114	18
受取配当金	1,459	742
受取手数料	2,448	1,386
受取保険金	3,383	7,994
受取賃貸料	5,818	5,089
その他	3,159	5,069
営業外収益合計	16,383	20,301
営業外費用		
支払利息	505	182
賃貸費用	2,300	2,543
その他	426	161
営業外費用合計	3,232	2,887
経常利益	209,543	175,043
税金等調整前四半期純利益	209,543	175,043
法人税、住民税及び事業税	94,067	53,528
法人税等調整額	△21,461	5,590
法人税等合計	72,605	59,118
四半期純利益	136,937	115,925
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△747	△794
親会社株主に帰属する四半期純利益	137,685	116,719

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	136,937	115,925
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	545	3,953
その他の包括利益合計	545	3,953
四半期包括利益	137,482	119,879
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	138,230	120,673
非支配株主に係る四半期包括利益	△747	△794

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	209,543	175,043
減価償却費	12,527	12,715
賞与引当金の増減額(△は減少)	11,858	△1,072
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	20,200	3,000
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	10,199	13,000
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,003	△1,433
受取利息及び受取配当金	△1,574	△761
支払利息	505	182
売上債権の増減額(△は増加)	△22,535	△3,078
たな卸資産の増減額(△は増加)	△7,260	△86,651
仕入債務の増減額(△は減少)	△21,502	△33,327
その他	△23,125	△16,549
小計	186,832	61,068
利息及び配当金の受取額	1,574	761
利息の支払額	△496	△138
法人税等の支払額	△40,960	△141,452
法人税等の還付額	53,821	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	200,771	△79,760
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△27,957	△27,857
定期預金の払戻による収入	29,056	27,857
有形固定資産の取得による支出	△927	△2,174
保険積立金の積立による支出	△10,367	—
保険積立金の解約による収入	10,919	—
貸付けによる支出	△5,300	△4,350
貸付金の回収による収入	1,525	75
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,050	△6,449
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△10,000
長期借入金の返済による支出	△25,200	△25,200
自己株式の取得による支出	△18	—
配当金の支払額	△40,546	△52,710
財務活動によるキャッシュ・フロー	△65,765	△87,910
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	131,955	△174,120
現金及び現金同等物の期首残高	1,008,533	1,113,889
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,140,489	939,769

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設工事業	住宅等サービス事業	ビルメンテナンス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,309,419	640,234	737,945	3,687,598	—	3,687,598
セグメント間の内部売上高 又は振替高	950	1,524	295	2,769	△2,769	—
計	2,310,369	641,758	738,240	3,690,368	△2,769	3,687,598
セグメント利益	116,325	133,739	58,538	308,603	△112,211	196,392

(注) 1. セグメント利益の調整額△112,211千円には、セグメント間取引消去12,243千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△124,454千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設工事業	住宅等サービス事業	ビルメンテナンス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,371,189	633,596	799,821	3,804,606	—	3,804,606
セグメント間の内部売上高 又は振替高	704	2,118	6,509	9,331	△9,331	—
計	2,371,894	635,714	806,330	3,813,938	△9,331	3,804,606
セグメント利益	75,698	114,402	66,008	256,109	△98,479	157,629

(注) 1. セグメント利益の調整額△98,479千円には、セグメント間取引消去14,483千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△112,962千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。